



各位

会社名 株式会社 CAC Holdings  
 代表者名 代表取締役社長 酒 匂 明 彦  
 (証券コード 4725 東証 1 部)  
 問合せ先 経営管理部長 堀 内 徹  
 (電話 03-6667-8010)

通期業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 14 日に公表しました平成 29 年 12 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 12 月期第 3 四半期連結会計期間(平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)におきまして、のれんの減損損失を特別損失に計上しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	54,000	1,800	1,500	1,100	59.67
今回修正予想(B)	53,000	600	540	1,100	59.67
増減額(B-A)	△1,000	△1,200	△960	—	—
増減率(%)	△1.9	△66.7	△64.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期通期)	52,521	1,202	937	2,039	105.55

【修正の理由】

(売上高)

概ね計画どおりに推移する見込みです。

(営業利益)

シンガポール子会社 Sierra Solutions Pte. Ltd.(以下「Sierra Solutions」)において案件確保による業績回復を見込んでいたものの回復に至らず、通期での営業損失が避けられないと判断しました。また、インド子会社 Accel Frontline Limited(以下「AFL」)における中東(ドバイ)経済不況の影響や高採算案件の減少に加え、医薬品開発支援事業での不採算案件の影響も見込まれるため、600 百万円いたしました。

#### (経常利益)

上記のとおり、営業利益は 600 百万円を見込んでいますが、AFL の連結子会社 Accel Systems & Technologies Pte. Ltd.(以下「ASTL」)の売却(平成 29 年 5 月 29 日開示「連結子会社(孫会社)の異動(譲渡)及び特別利益の計上に関するお知らせ」)に伴う代金を AFL の借入金返済に充てたことにより、インドでの金利負担が圧縮されたことに加え、保有有価証券の受取配当金が期初予想を上回ったこと等から営業外損益が改善される見込みとなったため、540 百万円といたしました。

#### (親会社株主に帰属する当期純利益)

「2. 特別損失の計上について」に記載のとおり、のれんの減損損失として 1,120 百万円を特別損失に計上しましたが、投資有価証券売却益 1,137 百万円(平成 29 年 3 月 31 日開示「投資有価証券売却益(特別利益)の発生に関するお知らせ」)や ASTL 株式売却益 992 百万円(平成 29 年 5 月 29 日開示「連結子会社(孫会社)の異動(譲渡)及び特別利益の計上に関するお知らせ」)等の特別利益を計上しているため、通期業績予想に変更はありません。

なお、平成 29 年 12 月期の期末配当予想は、現時点において平成 29 年 2 月 14 日に公表した前回発表予想からの変更はなく、1 株あたり 18 円(中間配当 18 円と合わせた年間配当金は 36 円)を予定しております。

## 2. 特別損失の計上について

Sierra Solutions の業績が、株式取得時の事業計画を下回って推移していることから、今後の事業計画の見直しを行いました。これに伴い、Sierra Solutions の株式取得時に発生したのれんの回収可能価額を検討した結果、平成 29 年 12 月期第 3 四半期連結会計期間において当該のれんの未償却残高の全額を減損損失として認識し、特別損失 1,120 百万円を計上しました。

以上